



●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用した場合製品重量が最大125kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、漏水の原因になることがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

■取付け上へのお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

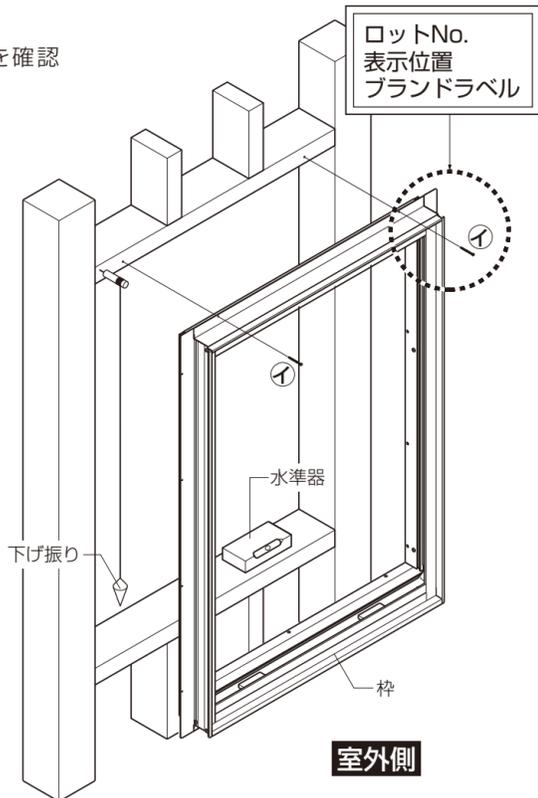
■取付けねじ・押縁一覧表

①	②	押 縁	
スクリーナ釘 φ2.1×32	皿木ねじφ3.1×20	上用/1本 ※SG（マド）にはありません。	縦用/2本

■取付け順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

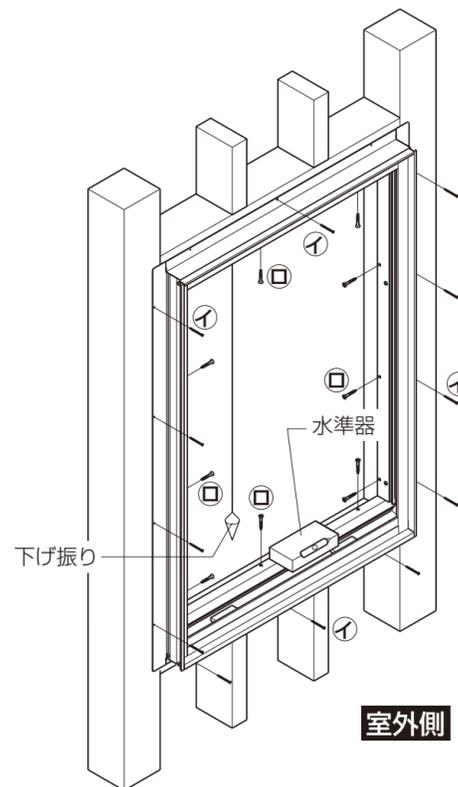
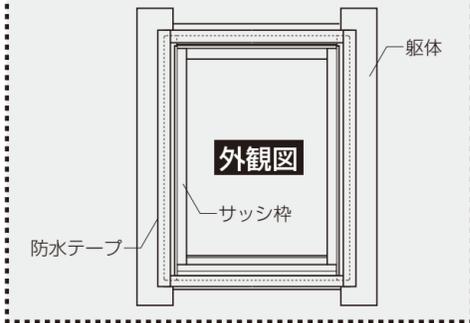
- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。サッシ性能低下の原因になることがあります。

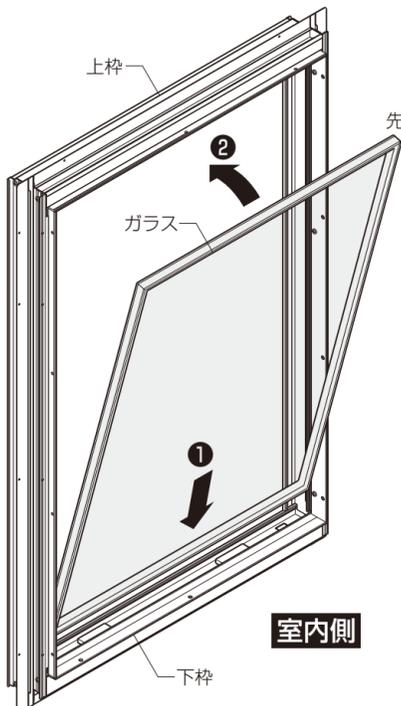
▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になることがあります。

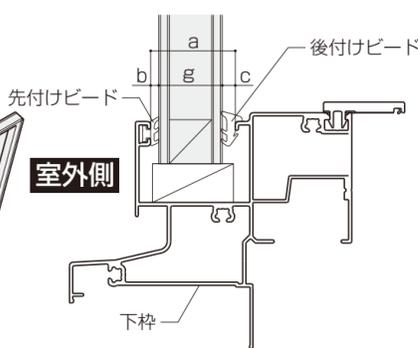


3 ガラスの建込み

- ①ガラスを室内側からはめ込みます。
- ※図はPG（マド・テラス）・SG（テラス）の場合を示します。SG（マド）の場合は、けんどんにて建込みます。
- ②押縁を入れます。
- ③4方に後付けビードをまわします。



■ガラスビードの使用区分



■ガラスビード一覧表

SG(単板ガラス)a=14		PG(複層ガラス)a=24		先付けビード (b)		後付けビード(c) (別売り)							
ガラス厚(g)(mm)	ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成例											
2	12	3-6-3	E	3	9	E	E						
3	13	3-6-4						8					
4	14	3-6-5 4-6-4							7				
5	15	4-6-5								6			
6	16	3-6-6.8 5-6-5									5		
6.8	17	4-6-6.8 5-6-6										4	
8	18	5-6-6.8 3-12-3											3